

地下水バイパス揚水井の汲み上げにおける一時貯留タンク に対する評価結果について(その1)

<参考資料>
 2022年4月5日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー

【各揚水井のトリチウム濃度】

トリチウム濃度 (Bq/L)	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6	No. 7	No. 8	No. 9	No. 10	No. 11	No. 12	No. 10揚水井 運転状況
2015. 11. 12 (木)	6.9	/	12	/	50	/	37	/	採水なし	2000	720	/	汲み上げ中
2015. 11. 16 (月)	/	8.4	/	24	/	66	/	採水なし	/	2800	/	220	汲み上げ中
2022. 2. 14 (月)	/	※2	/	※2	/	17	/	67	/	370	/	180	汲み上げ中
2022. 2. 17 (木)	11	/	37	/	25	/	23	/	120	350	520	/	汲み上げ中
2022. 2. 21 (月)	/	21	/	19	/	17	/	69	/	370	/	180	汲み上げ中
2022. 2. 24 (木)	12	/	45	/	24	/	25	/	130	390	520	/	汲み上げ中
2022. 2. 28 (月)	/	22	/	17	/	19	/	62	/	380	/	180	汲み上げ中
2022. 3. 3 (木)	13	/	46	/	20	/	26	/	130	370	500	/	汲み上げ中
2022. 3. 7 (月)	/	21	/	19	/	16	/	61	/	390	/	180	汲み上げ中
2022. 3. 10 (木)	15	/	48	/	19	/	23	/	140	380	520	/	汲み上げ中
2022. 3. 14 (月)	/	20	/	18	/	18	/	64	/	380	/	180	汲み上げ中
2022. 3. 21 (月) ※3	/	23	/	16	/	16	/	62	/	330	/	220	汲み上げ中
①2022. 3. 24 (木) ※1	17	23	56	16	14	16	21	62	150	320	580	220	汲み上げ中
②トリチウム上昇傾向評価用	17	23	56	16	14	16	21	62	150	1120	580	220	

※1 No. 10以外については隔回でサンプリングを実施しており、サンプリングの無い週は前週の濃度に基づいて評価している。

※2 汲み上げ停止等に伴いサンプリングを中止しており、当該ピットの濃度を一時貯留タンクの濃度評価に用いていない。

※3 3月16日の地震により地下水バイパス設備がマニュアルに基づき停止したため、3月17日のサンプリングは行っていない。

【各揚水井の汲み上げ比率】

	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6	No. 7	No. 8	No. 9	No. 10	No. 11	No. 12	計
③ 汲み上げ比 ※4	0.26	0.19	0.13	0.09	0.01	0.02	0.04	0.05	0.07	0.08	0.02	0.04	1.00

※4 No. 1～12: 至近の汲み上げ実績をもとに算出。

(3/30(水)～3/31(木))

【評価結果(一時貯留タンクのトリチウム濃度)】

一時貯留タンク内
トリチウム濃度

2022. 3. 14 ※6	5.6	1.2	8.2	1.9	0.0	0.4	0.4	3.9	12.3	27.8	3.0	4.0	68.8
2022. 3. 21 ※6	3.7	4.2	6.1	1.5	0.3	0.3	0.8	3.2	9.6	30.0	10.6	9.1	79.5
2022. 3. 24 (①×③)	4.4	4.4	7.1	1.5	0.2	0.3	0.9	2.9	10.8	25.1	11.3	8.1	77.0
トリチウム上昇傾向評価用 (②×③) ※5	4.4	4.4	7.1	1.5	0.2	0.3	0.9	2.9	10.8	87.9	11.3	8.1	139.8

※5 「トリチウム上昇傾向評価用」とは、2015年の11/12から11/16までの上昇傾向が継続すると仮定したトリチウム濃度を設定し評価したものの。

※6 参考(前回、前々回評価結果)